

2 浜松のまちづくりの課題と基本目標

2-1 目指す姿の実現に向けて

- 本計画は、目指す姿を「みどりによって持続的に発展するまち・浜松 みどり生活を愉しみ、暮らしもまちも豊かな浜松へ」とし、「みどり生活を愉しむ」ことと、「みどりによってまちづくりの課題の解決に貢献する」ことにより、その実現を目指すこととします。
- 「みどり政策編」では、みどりが有する多様な役割・機能を最大限引き出し、発揮させることによって「みどりによってまちづくりの課題の解決に貢献する」ための考え方や手法をとりまとめています。そこで、「1-4 みどりが有する多様な役割・機能」を踏まえ、みどりによって解決に貢献できるまちづくりの課題を抽出・整理し、まちづくりの課題を如何に解決するかという視点で、基本目標、施策方針、施策を設定することとします。
- このアプローチは、自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとするグリーンインフラの考え方そのものです。したがって、本市では、本計画で設定する基本目標、施策方針、施策をグリーンインフラの取組と定義し、その取組を推進していくことにより目指す姿を実現します。

2-2 浜松のまちづくりの課題

- 「1-2 計画の位置づけ」で示した本計画の上位計画、関連計画から、持続可能なまちづくりに向けた本市の課題を抽出するとともに、環境・社会・経済の3側面からまちづくりの課題を整理しました。

課題① 自然環境の保全・創出と環境負荷低減への対応

環境

- ①-1 CO₂吸収源の確保
- ①-2 動植物の生息・生育環境や生態系の保全
- ①-3 環境負荷の小さい都市の構築
- ①-4 都市気候問題の改善
- ①-5 感覚公害の防止

- 市内には多様な自然環境が広がり、CO₂削減などの環境保全、動植物の生息・生育環境、雨水浸透や洪水調整などの多様な機能を果たしています。こうした多様な機能が持続的に発揮されるよう、自然環境の保全・創出に取り組む必要があります。
- 都市の持続可能性を確保するために、交通エネルギーや熱エネルギーの利用効率が高いだけでなく、快適で、都市気象の緩和が可能な、環境負荷の小さい都市の構築が必要です。

課題② 豊かな水環境・水循環の保全

環境

- ②-1 水循環の保全
- ②-2 閉鎖性の高い水域における総合的な対策の推進

- 本市は、浜名湖や佐鳴湖、天竜川、遠州灘をはじめとする豊かな水環境に恵まれています。こうした水環境は、散歩やジョギングといった市民の憩いの場として、キャンプやバーベキュー、サイクリングなどのレジャーの場として、また、豊かな漁場や観光客が訪れる場として、市民の暮らしにはなくてはならない存在となっています。
- こうした豊かな水環境を保全するため、河川・地下水の水量の確保や水質の浄化等に大きな役割を果たしている水循環を保全するとともに、閉鎖性の高い水域における総合的な対策が必要です。

課題③ 学び・育ちの環境の充実と次世代を担う人づくり

環境

社会

- ③-1 多様な地域特性を活かした環境教育の推進
- ③-2 教育・保育の充実による人づくりの推進
- ③-3 楽しい子育ての推進

- 本市の多様性に富んだ自然環境、地域や産業は、子供が地域のひと・もの・ことから直接的に体験できる学びの素材として、豊かな教育を行う上での強みになっています。
- こうした強みをさらに高めていくとともに、強みを生かした次世代を担う人づくりを進めていくことが重要です。

課題④ 健康寿命の延伸と生きがいづくりの推進

社会

- ④-1 健康寿命の延伸
- ④-2 暮らしの中での生きがいづくり
- ④-3 地域づくりの担い手としての高齢世代の活躍

- 平均寿命の延伸により、人が100年生きる時代、人生100年時代が到来するとされています。
- 人生100年時代を豊かに生きるためには、健康上の問題に制限されることなく日常生活を送ることができる健康寿命の延伸、趣味や余暇活動などを通じた、暮らしの中での生きがいづくりが重要です。また、元気な高齢世代が地域づくりの担い手となって活躍することも期待されます。

課題⑤ コンパクトで暮らしやすい持続可能な都市の形成

社会

経済

- ⑤-1 良好な居住環境の形成

- 既に人口減少社会を迎えている中で、依然として市街地外で居住人口や都市的土地利用が増加するなど、都市の外延的な拡大が進行しています。
- 都市の持続可能性を確保するためには、都市の拡大を抑制し、都市のコンパクト化を推進することが必要です。
- 市街地では、都市の空洞化やスポンジ化が進行しており、散在している空き家・空き地の集約・活用を図ることが重要です。また、日常生活におけるやすらぎを確保するとともに、地域のコミュニティが維持できるよう、地域の人口密度の維持も必要です。
- 多様な自然環境や文化に触れることができる都市環境を市民の暮らしを豊かにする生活の質の一つと捉え、地域特性に応じた良好な都市環境の形成が必要です。
- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大を契機として高まるニーズに対応した空間形成などの取組が必要です。

課題⑥ 地域への誇りや愛着の醸成と地域でのつながりづくり

社会

- ⑥-1 市民団体の活動の活性化
- ⑥-2 企業による地域活動の活性化
- ⑥-3 豊かな自然環境の将来世代への継承
- ⑥-4 市民の都市に対する誇り・愛着の醸成

- 本市では、「浜松市総合計画」において「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」という都市の将来像を掲げています。また、「浜松市市民協働を進めるための基本指針」を策定し、多様な主体によるまちづくりの実現を目指しています。
- こうした市民協働によるまちづくりを進めるためには、地域への誇りや愛着を育むとともに、地域とのつながりを醸成していくことが重要です。

- 『やまいか精神』のもと、世界を舞台に活躍する大企業から高度な技術を持つ中小・ベンチャー企業までが集積する本市において、企業と連携した地域活動の活性化も重要です。

課題⑦ 安全で安心して暮らせる災害に強い都市の形成

社会

⑦-1 安全で安心して暮らせる災害に強い都市の形成

- 頻発する局地的大雨や台風、南海トラフ巨大地震などの被害に対する懸念が高まっており、市民の生命・財産を守り、発災後も速やかに復旧・復興を図れるよう、安全で安心して暮らせる災害に強い都市の形成が必要です。

課題⑧ 多様な産業・資源を活かした都市活力の持続・向上

経済

- ⑧-1 都市の経済効率性の向上、競争力強化
- ⑧-2 適切な農地等の保全
- ⑧-3 観光資源を活用した関係・交流人口の拡大
- ⑧-4 歴史・文化資源やそれらが生み出すまち並み景観の活用

- ものづくりや観光資源など産業面の強みを活かした本市の持続的な成長のためには、都市の経済効率性を高め競争力を強化することが重要です。
- 本市は、全国でも上位の農業産出額を誇る農業が盛んな都市であり、多面的機能を有する農地の保全、集積・集約による農業経営の強化を図ることが必要です。
- 同様に、林業をととした経済活動とともに、多面的な機能を有する森林の保全、関係・交流人口の拡大を図ることも重要です。
- 豊かな自然環境や歴史・文化資源を磨き上げ、都市の魅力を高めることも必要です。

課題⑨ 創造都市の顔である都心の再生

経済

⑨-1 賑わいの場としての市街地環境の整備

- 都心を創造都市の顔として形成していくためには、商業・業務・学術・文化・居住などの多様な都市機能の高次集積により、市民、出張者、観光客などの多くの人々が集まり、活動し、交流するにぎわいの場としての環境整備が必要です。

課題⑩ 地域ならではの文化の醸成

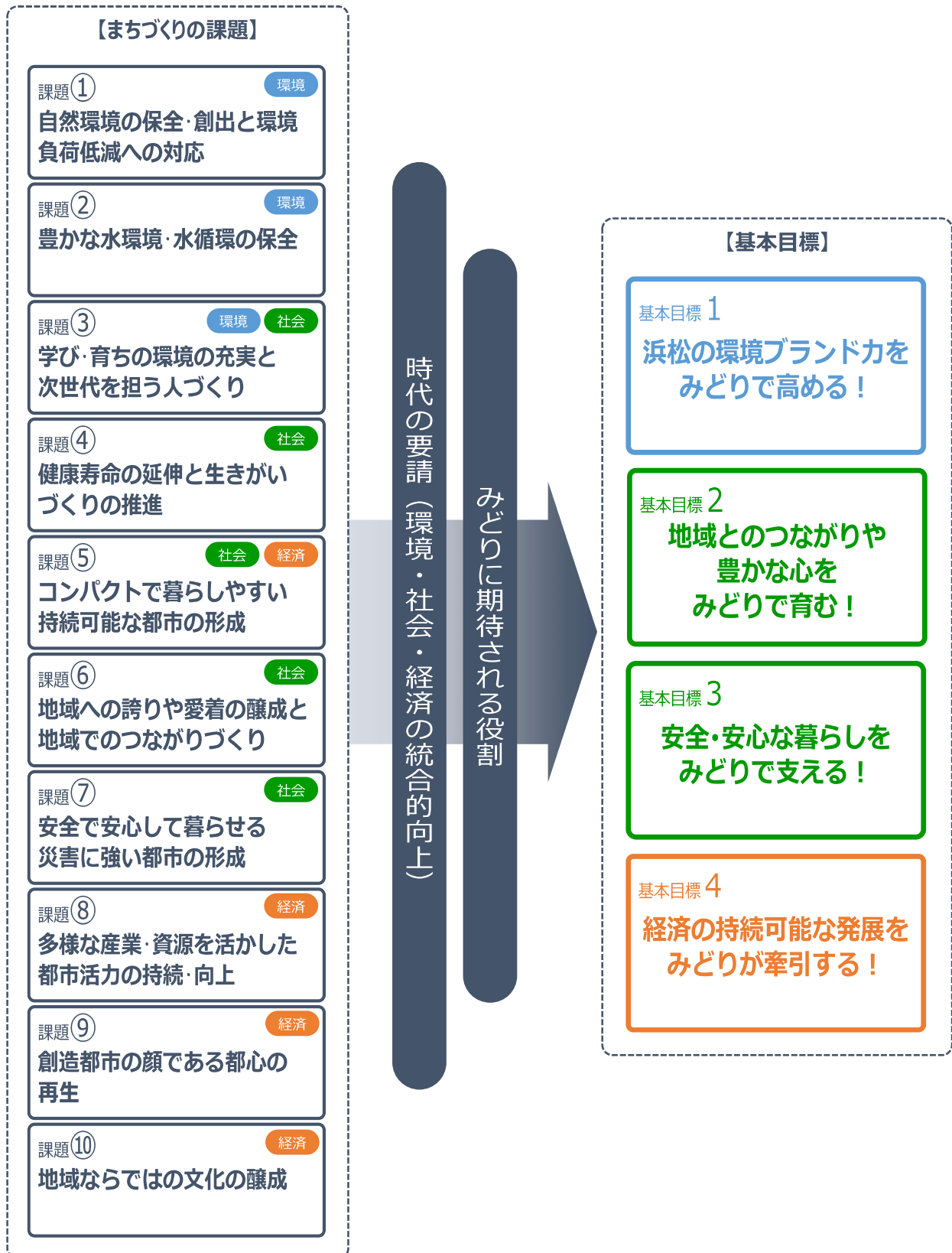
経済

- ⑩-1 地域文化の豊かさを実感できる環境づくり
- ⑩-2 都市部と農山村部の交流
- ⑩-3 中間支援組織の活躍、プラットフォームの構築

- 浜松市都市計画マスタープランに示されている基本理念「多彩に輝き、持続的に発展する都市」の実現にあたっては、JR 浜松駅を中心とした都心だけでなく、地域がそれぞれに持っている地域資源を大切にするとともに、地域に根ざした個性あふれるまちづくりを進めていくことが重要です。

2-3 基本目標

○目指す姿の実現に向けて、まちづくりの課題に対して、時代の要請（環境・社会・経済の統合的向上）に応えつつ、みどりに期待される役割を踏まえながら、基本目標を設定しました。

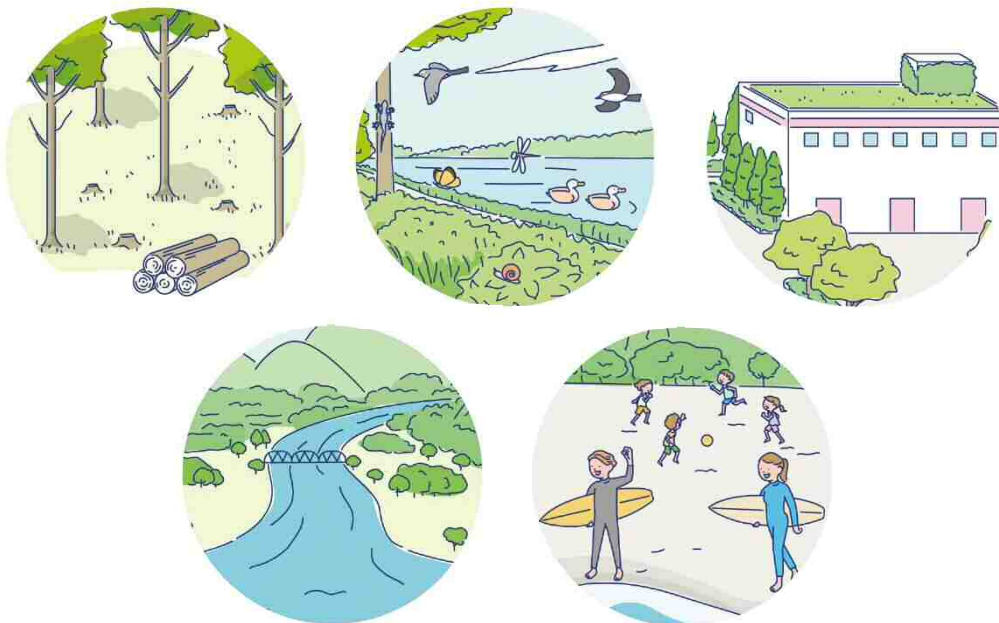


基本目標 1 浜松の環境ブランド力をみどりで高める！

- 本市には、天竜の森林、浜名湖及び遠州灘といった骨格となるみどり、天竜川河岸段丘の斜面樹林、都田川両岸の樹林及び天竜川といった軸となるみどりをはじめ、河川、市街地近郊の里山、地域の歴史と一体となったみどり、農地など、多様で豊かなみどりが存在しています。こうしたみどりは、本市の歴史・文化・風土の礎となっているだけでなく、多様な動植物の生息・生育環境であったり、私たちの安全・安心で快適な暮らしを支え、環境面での都市の持続可能性を高めています。また、二酸化炭素（CO₂）の吸収源として森林が果たす役割は、世界的な脱炭素社会に向けた動きが加速する中で、ますます重要となっています。
- CO₂の吸収や大気の浄化、ヒートアイランド現象の緩和、動植物の生息・生育環境の確保といったみどりが有する環境保全機能を継続的に発揮することで、誰もが安心して暮らせる住み心地良さを高め、多くの人が住んでみたい、多くの企業が進出したい都市としての「浜松の環境ブランド力」をみどりによって確立・向上させます。

【解決を図るまちづくりの課題】

- 課題① 自然環境の保全・創出と環境負荷低減への対応
- 課題② 豊かな水環境・水循環の保全
- 課題③ 学び・育ちの環境の充実と次世代を担う人づくり



「浜松の環境ブランド力」とは・・・

- 本市が、多くの人や企業に選ばれる都市となるためには、「安心して暮らせる住み心地良さ」が重要になります。
- 本計画では、「安心して暮らせる住み心地良さ」を高め、行ってみたい、住んでみたいと感じる良質な都市のイメージを「浜松の環境ブランド力」としています。

基本目標 2 地域とのつながりや豊かな心をみどりで育む！

- 少子高齢化の進行や価値観・ライフスタイルの多様化、地域社会におけるコミュニティの希薄化など、社会情勢が大きく変化しています。これまでの人口増加や経済の成長が前提である中では、みどりの機能として特に環境面が重視されてきましたが、社会情勢が大きく変化する中では、社会面や経済面の比重も相対的に大きくなってきています。
- 市民の憩いやレクリエーション、健康増進等の場となる身近な公園緑地について、少子高齢化や都市のコンパクト化等も見据え、効果的な配置や利用環境の充実を図ります。また、健康寿命の延伸や子育て、教育環境の充実、地域のコミュニティの維持など、地域が抱える課題の解決を図るきっかけの場として公園の柔軟な利用を促進します。テーマを持った特色ある公園づくりを推進し、市民の都市に対する誇りや愛着の醸成を図ります。
- そして、天竜の森林や浜名湖、遠州灘といった豊かな自然環境、農地や河川、里山といったみどりにおいても、自然とのふれあいやスポーツ・レクリエーション活動をはじめとする多様な市民のみどり生活を後押しできる環境づくりを推進します。

【解決を図るまちづくりの課題】

- 課題③ 学び・育ちの環境の充実と次世代を担う人づくり
- 課題④ 健康寿命の延伸と生きがいづくりの推進
- 課題⑤ コンパクトで暮らしやすい持続可能な都市の形成
- 課題⑥ 地域への誇りや愛着の醸成と地域でのつながりづくり

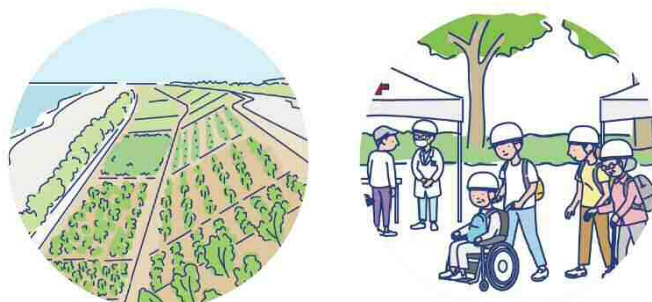


基本目標 3 安全・安心な暮らしをみどりで支える！

- 近年、頻発する局地的大雨や台風、南海トラフ巨大地震などの被害に対する懸念が高まっており、市民の生命・財産を守り、発災後も速やかに復旧・復興を図れるよう、安全で安心して暮らせる災害に強い都市の形成が必要です。
- 大規模火災発生時における延焼防止、避難地や復旧活動拠点としての機能はもとより、防潮堤整備と合わせた海岸防災林の植樹による津波被害の軽減、急傾斜地等における土砂災害発生抑制など、みどりが有する防災・減災機能を効果的に発揮することで、安全・安心な暮らしをみどりによって支えます。

【解決を図るまちづくりの課題】

- 課題⑦ 安全で安心して暮らせる災害に強い都市の形成

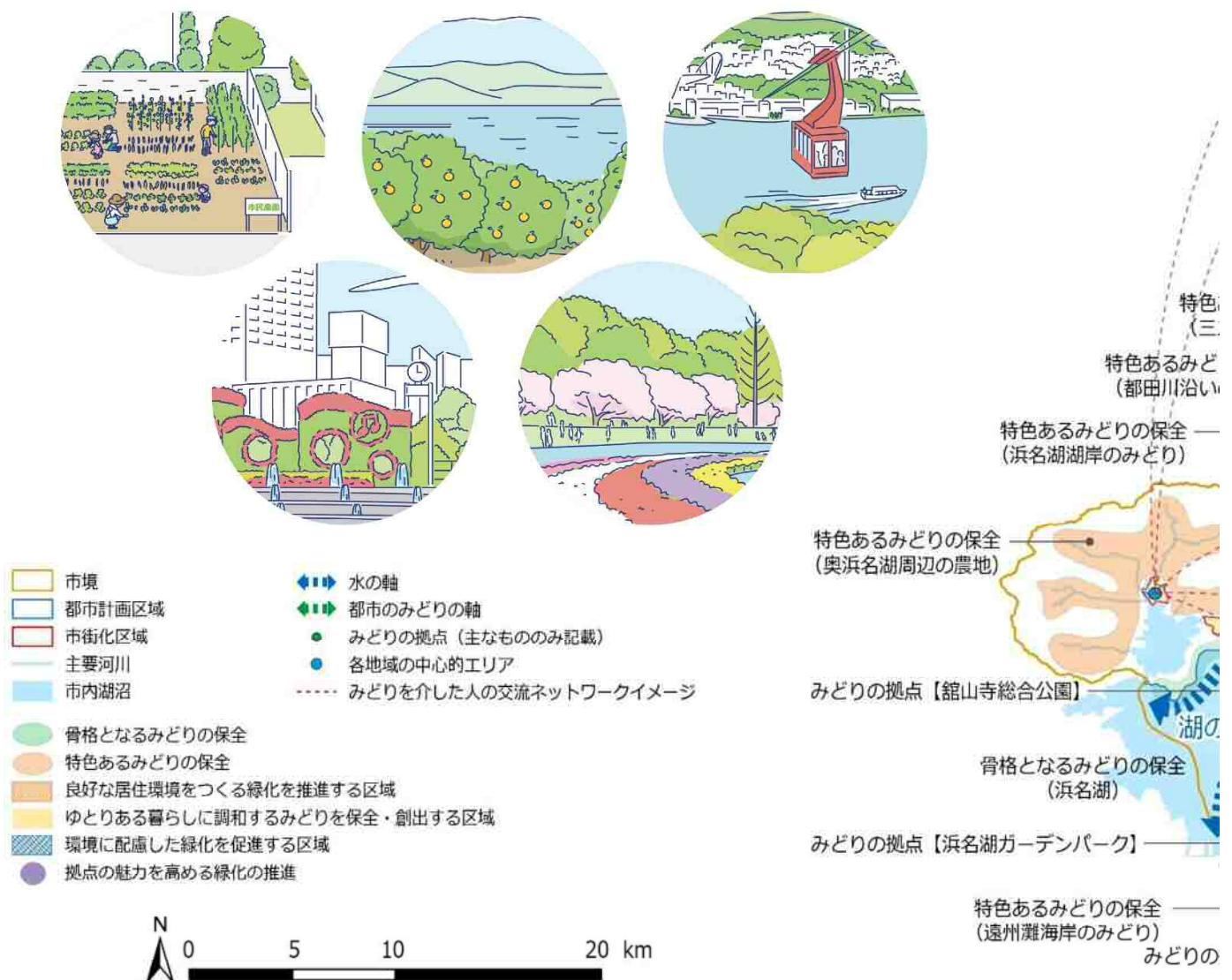


基本目標 4 経済の持続可能な発展をみどりが牽引する！

- 都市のみどりは、身近な自然環境や質の高いオープンスペースとして、ビジネス環境の向上、観光地としての魅力の増進、住宅・宅地の資産価値の向上に通じ、地域経済の振興や都市の活力向上に貢献することができます。また、みどりそのものが経済活動の基本的な資源でもあります。
- 『やまいか精神』のもと、農林水産業を支える豊かなみどりの保全、多様な地域性や自然資源、花と緑のまちづくりの文化の観光振興への活用など、浜松の持続的成長に向けた活力、競争力、創造性の向上にみどりを活用します。
- また、商業・業務機能をはじめ、様々な都市機能が集積し、都市の顔として、本市の持続的発展を牽引する都心における賑わいのある魅力的なまち並みの創出に向けて、本市の玄関口である JR 浜松駅前やまち並みを印象付ける道路や河川において、花や緑を活かした美しい景観づくりに関する取組を推進します。
- さらに、浜松オープンガーデンやモザイクカルチャーの推進、花と緑のコンクールの開催などにより、『花と緑のまち・浜松』のブランディングを推進します。

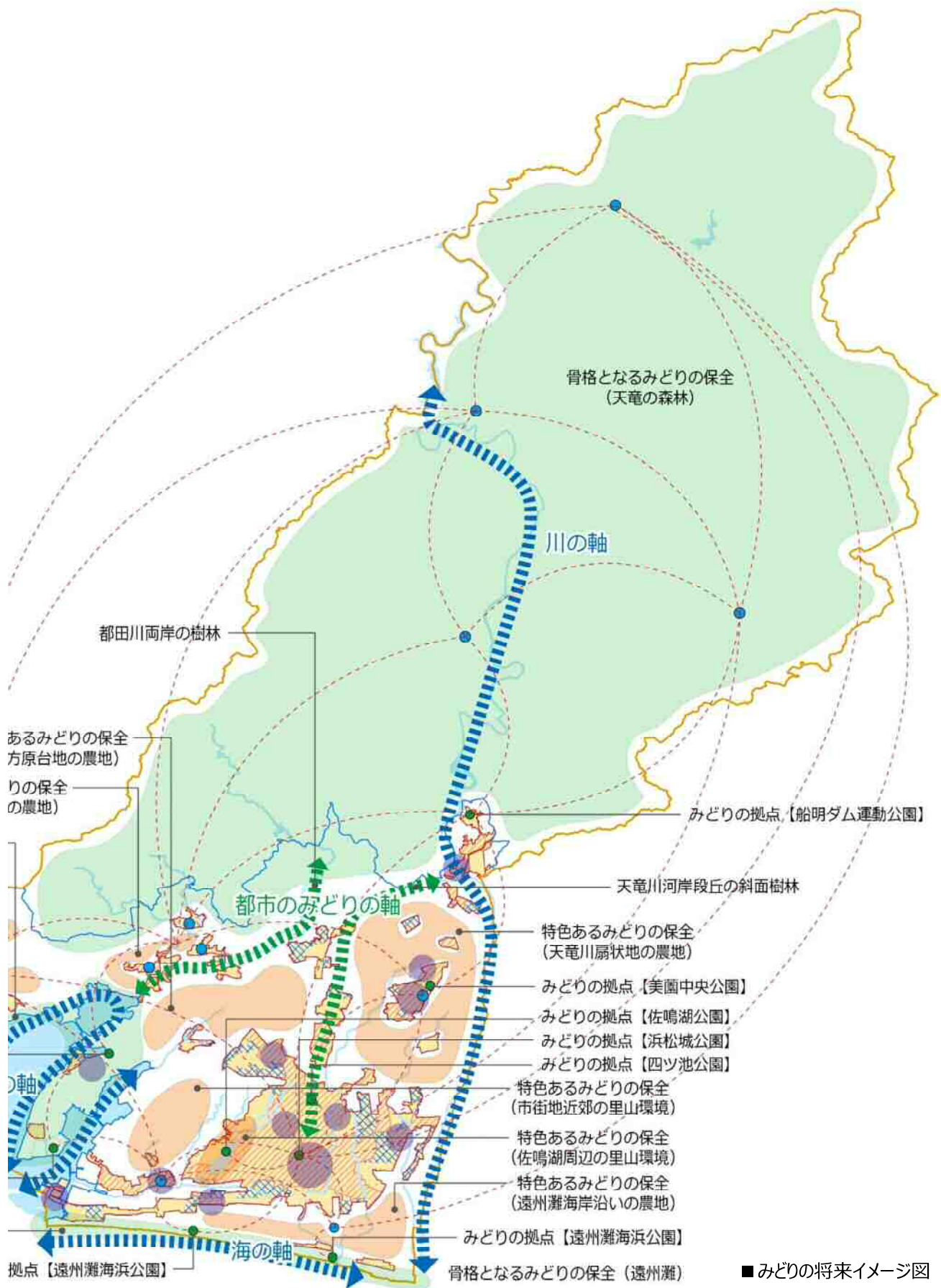
【解決を図るまちづくりの課題】

- 課題⑤ コンパクトで暮らしやすい持続可能な都市の形成
- 課題⑧ 多様な産業・資源を活かした都市活力の持続・向上
- 課題⑨ 創造都市の顔である都心の再生
- 課題⑩ 地域ならではの文化の醸成



2-4 将来イメージ

○各基本目標の実現による将来イメージを以下のとおり設定します。



【土地利用区分等の考え方】

土地利用区分等	考え方
市街地	概ね現在の市街化区域の範囲において、円滑な都市活動を確保し、良好な都市環境を形成する地域
歩いて暮らせる居住地	市街地のうち、都市機能を集積する拠点とその周辺や、拠点間を結ぶ公共交通沿線において、歩いて便利に暮らせる人口密度が高い居住地を形成する地域 (立地適正化計画の「居住誘導区域」に相当する地域) (良好な居住環境をつくる緑化を推進する区域)
都心	創造都市の顔であり、西遠都市圏や市域をけん引する中心として、多様な高次都市機能を集積する拠点 (立地適正化計画の「広域サービス型都市機能誘導区域」に相当する地域)
副都心	都心を補完する多様な都市機能を集積する拠点 (立地適正化計画の「市域サービス型都市機能誘導区域」に相当する地域)
地域拠点	地域の中心として、一定の都市的サービスを提供できる都市機能を地域特性に応じて集積する拠点 (立地適正化計画の「地域サービス型都市機能誘導区域」に相当する地域)
主要生活拠点	市民の身近な生活サービスを提供できる都市機能を地域特性に応じて集積する主要な拠点 (立地適正化計画の「生活サービス型都市機能誘導区域」に相当する地域)
周辺市街地	歩いて暮らせる居住地以外の市街地で、ゆとりある居住地を形成する地域 (ゆとりある暮らしに調和するみどりを保全・創出する区域)
工業地	歩いて暮らせる居住地以外の市街地で、既存工業の維持・再生を図るための工業地を形成する地域 (環境に配慮した緑化を促進する区域)
市街地外	概ね現在の市街化調整区域の範囲において、市街化を抑制し、自然環境と農地の保全を最優先する地域
観光拠点	浜名湖を中心とした観光資源を活かして、広域圏を対象とした観光施設を集積する拠点
中山間地	概ね現在の都市計画区域外の範囲において、豊かな自然環境や生物多様性を保全し、森林や水辺地など自然資源を活かした地域づくりを進める地域
みどりの拠点	市内外から訪れる多くの人のみどりを通じて交流できる公園緑地 遠州灘海浜公園（県営）、浜名湖ガーデンパーク、浜松城公園、 遠州灘海浜公園（市営）、佐鳴湖公園、牛山公園、舘山寺総合公園、 可美公園、雄踏総合公園、馬込川公園、都田総合公園、引佐総合公園、 四ツ池公園、和地山公園、船明ダム運動公園、豊西緑地、明神池運動公園、 花川運動公園、鳥羽山公園、安間川公園、飯田公園、城山公園、美園中央公園、 高丘公園、天竜川緑地、天竜川運動公園
水の軸	天竜川、遠州灘、浜名湖の豊かで雄大な水辺地を保全し、観光、レクリエーションの場として活用する軸 川の軸（天竜川）、海の軸（遠州灘）、湖の軸（浜名湖）
都市のみどりの軸	天竜川河岸段丘の斜面樹林及び都田川両岸の樹林を保全しつつ、みどり豊かな都市生活や生物多様性を確保する軸 天竜川河岸段丘の斜面樹林、都田川両岸の樹林

【みどりの拠点一覧】

公園種別	都市公園名	都市計画公園名	所在地
広域公園	遠州灘海浜公園（市営）	遠州灘海浜公園	南区中田島町 1674
	遠州灘海浜公園（県営）	遠州灘海浜公園	南区江之島町 1706
	浜名湖ガーデンパーク	浜名湖ガーデンパーク	西区村櫛町 5475-1
総合公園	浜松城公園	浜松城公園	中区元城町 100-2
	佐鳴湖公園	佐鳴湖公園	西区入野町 19954-104
	牛山公園	牛山公園	中区下池川町 155-1
	舘山寺総合公園	浜松総合公園	西区舘山寺町 195
	可美公園	可美公園	南区増楽町 920-1
	雄踏総合公園	雄踏総合公園	西区雄踏町宇布見 9984-1
	馬込川公園	馬込川公園	中区中央三丁目 116-1
	都田総合公園	都田総合公園	北区新都田一丁目 103-4
引佐総合公園	引佐総合公園	北区引佐町井伊谷 3858-1 外	
運動公園	四ツ池公園	四ツ池公園	中区上島六丁目 19-1
	和地山公園	和地山公園	中区和地山三丁目 10-1
	船明ダム運動公園	－	天竜区船明 2649 他
	豊西緑地	－	東区豊町 3244 地先
	明神池運動公園	－	浜北区宮口 390 外
	花川運動公園	花川運動公園	中区西丘町 724
地区公園	鳥羽山公園	－	天竜区二俣町二俣 2364 他
	安間川公園	安間川公園	東区安新町 181-2
	飯田公園	飯田公園	南区大塚町 1876-1
	城山公園	－	天竜区二俣町二俣 1020 外
	美園中央公園	美園中央公園	浜北区西美園 733 外
	高丘公園	高丘公園	中区高丘東一丁目 4-1
緑地	天竜川緑地	天竜川緑地	南区鶴見町 2490-1 地先他
	天竜川運動公園	－	浜北区中瀬永島地先

※広域公園、総合公園、運動公園、地区公園を「みどりの拠点（広域的な公園）」と位置づけます。

※緑地は、10ha 以上のものを「みどりの拠点」と位置づけます。

※公園に関する位置づけは、その他に「身近な公園」として住区基幹公園を位置づけます。

※地区公園は住区基幹公園に入りますが、広域から人を呼び込むポテンシャルを有しているため、「みどりの拠点」としても位置づけます。ポテンシャルの例としては、次のものがあります。

- ・収益性が見込めるとして指定管理者制度を導入済み（安間川公園、美園中央公園、高丘公園）
- ・都市緑化植物園が公園内にある（飯田公園）
- ・歴史まちづくり計画で重点地区に位置づけられる施設が公園内にある（鳥羽山公園、城山公園）